

第5回矢巾町新型インフルエンザ等対策本部会議 議事要旨

【開催日時】令和2年4月20日（月）午後4時～午後5時52分

【開催場所】役場3階 庁議室

【会議概要】

○本部長（町長）からの指示事項等

- ・第8回盛岡地方支部会議があり、県知事の記者会見の資料が配布となった。施設の休業やイベント開催などについて情報交換を行った。
- ・今朝地震があったが、コロナ対応と併せて災害が発生するという状況も想定しておかなければならない。
- ・第3弾の町長メッセージは若者に向けたメッセージとしたい。
- ・上半期である9月まで、すべてイベントを中止とする。実行委員会等がある場合は、委員会等で協議しながら中止にすること。イベント中止に伴い不要になった予算は組み替えを。
- ・公共施設の閉鎖期間を5月6日で統一する。ただし、災害が発生した場合には施設も開放するなど柔軟に対応していく。
- ・密を避ける対策として、火葬場ではラインを引いて対応しているようだが、足型を描いた方が効果的である。
- ・役場のタイムライン(時系列ごとの行動計画)をしっかりと作成し、スピード感を持って対応できるようにすること。
- ・感染症対策として人と接する機会を減らすため、当面の間、区長配布を月初めの1回のみとし、月半ばの配布は取りやめとする。広報お知らせ号の発行も中止する。
- ・飛沫感染防止のため、ソーシャルディスタンス（社会的距離）を意識するように。
- ・非接触式温度計を30台購入する予定で進めていく。
- ・議会定例会5月会議が5月1日に開催される予定であり、感染症に係る補正予算を提案する。
- ・ゴールデンウィーク中における感染症に関する相談等に対応するため、日直や宿直をサポートする体制づくりを。また、やはラヂ！や町HPで連休中も休まずに広報活動すること。
- ・こういう時こそフライデーオーバーションのような取り組みが大事である。役場1階ロビーや駅、やはぱーくにパネル展示するなど、町としても取り組んでいきたい。
- ・子ども用マスクについて、病気等で困っている子どもたちに配布するなど柔軟な対応を。
- ・全国的に子どもを対象に給付金を支出している。形を変えて子どもや高齢者に何が必要かを考えてほしい。
- ・弁当の宅配について商工会から相談があったが、サポートできるような取り組みを考えること。
- ・農業資材を使ってマスクや防護服を作ることは可能ではないか。

○確認事項

- ・子ども用マスクを含め、マスクの取りまとめや在庫管理について、健康長寿課を主体として取り組んでいく。マスクが必要な方に対し優先的に配布することも検討していく。
- ・役場庁舎等の消毒作業について、役場全体で共通認識のもと取り組んでいく。消毒作業に必要な手袋やゴーグルなどの数量について、役場庁舎など大きい施設を想定して常備する。また、これらに係る予算については、1つにまとめて集約化を図る。

以上